



**ホッカンホールディングスグループ  
2022~2026年度 中期経営計画  
VENTURE-5**

## 中期経営計画 VENTURE-5 策定にあたり

ホッカングループは2021年10月、創立100周年を迎えました。これもひとえに、お客様、お取引先様、従業員各位、地域社会の皆様、株主様、当社グループに関係のある全ての方々からのご厚意ご支援を賜ったお蔭と考えております。ここに厚くお礼申し上げます。

今、当社グループを取り巻く事業環境は激しく変化しております。特に、地球環境問題を始めとした数々の問題に対しては待ったなしの対応を迫られており、正に時代の大きな転換点を迎えていると言っても過言ではありません。その様な状況の下、当社グループが今後も社会から必要とされる存在である為には、大きく変化していく必要があると認識しております。

ここから新たな100年の歴史を紡ぐため、新たな中期経営計画と共に、その一步を踏み出して参ります。

ホッカンホールディングス株式会社

代表取締役社長 池田 孝資

当社グループは、北海道・小樽の地に誕生してから100年に亘り事業を営んで参りましたが、次の100年を迎えるにあたり、我々自身の使命をより明確に表した経営理念であるべきとの思いから、この度、刷新を決定致しました。我々自身がどのような存在であったか、そして、この先、どのような存在であるべきか、その思いを込め策定しております。

**経営理念：開拓者精神をもって、成長のために飽くなき挑戦をし続け、  
お客様と共に、社会から必要とされる製品を提供していく。**

経営理念を次の100年を見据えた使命とするならば、ビジョンについては2030年を目途に、当社グループはどのような存在になっているべきなのか、を表したものとして以下の通り策定致しました。

- 1.我々は、お取引先様から、また社会から強く必要とされる存在であるため、常に社会的責任を明確にすると共に、各事業分野において「この点がNo.1」と言い切れる明確な特長を持った製品サービスを開発、提供します。
- 2.我々の製品、サービスを世界中の人々へ提供できるよう、新たな事業拠点の設立を積極的に進めて参ります。
- 3.我々は国籍、性別、年齢に関係なく、事業に貢献する人を正当に評価する、フェアな企業集団であり続けます。

# サステナビリティ基本方針

経営理念およびビジョンの実現を目指すにあたり、企業としての基本姿勢、行動原則を表したサステナビリティ基本方針を策定致しました。当社グループは、各事業分野において成長を続け、中長期的な企業価値の向上を図るためには、その活動が環境、社会と調和する持続可能なものでなければならないことを深く認識し、これを実践するために、事業活動において直接的、間接的にかかわる様々な社会課題の解決に向けて積極的に取り組むこととしております。

その基本方針として今回新たにサステナビリティ基本方針を策定すると共に環境方針、製品安全方針、労働安全衛生・健康方針およびサステナビリティ調達方針を策定し、2050年までにカーボンニュートラルを目指す新たな気候変動対策目標を設定致します。

## VENTURE-5 全社戦略

経営理念およびビジョンの実現を目指すにあたり、サステナビリティ基本方針に沿いながら、当社グループが一丸となり確実に実行していくべき方策として全社戦略を策定しております。

### 1. 人的資源の最適化

成長の源泉である人的資源を最適化するために、適切な人事制度、教育制度の確立と価値創出に貢献できる人材確保のための積極的な投資を行います。

### 2. 国内事業の再編

稼ぐ力＝お客様へ高い価値を提供できるか否かを最重要視し、事業の取捨選択に取り組みます。

### 3. 海外事業の拡大

東南アジア諸国を中心とした新興国への事業投資をこれまで以上に加速させ、事業規模、利益の拡大を目指します。

### 4. 新規事業開発

M&Aを積極的に活用し国内、海外問わず、当社グループの知見を活かし得る新たな事業領域へ進出して参ります。

# VENTURE-5 2022～26年度グループ連結数値計画

	2021年度実績	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
売上高	86,329	96,000	96,000	98,000	101,000	102,000
営業利益	1,324	1,400	2,900	3,700	4,700	5,600
営業利益率	1.5%	1.5%	3.0%	3.8%	4.7%	5.5%
有利子負債	55,433	52,000	52,000	52,000	48,000	49,000
純資産	57,029	57,000	58,000	59,000	61,000	63,000
DEレシオ	1.0	1.0	1.0	0.9	0.9	0.9
ROE	▲2.3%	0.4%	2.6%	3.6%	4.9%	5.8%
自己資本比率	37.2%	38.0%	38.0%	38.0%	40.0%	41.0%

単位：百万円

## 営業利益

2021年度  
**13億円** → 2026年度  
**56億円**

前中期経営計画に引き続き、当中期経営計画においても営業利益(稼ぐ力)を重視して参ります。

期間前半においては、エネルギー価格高騰等の外部環境要因悪化の影響を受け、営業利益の落ち込みが予想されますが、後半において容器事業および充填事業での着実な施策実行による利益回復、また海外事業の成長を想定し、営業利益の回復を見込んでおります。

## 営業利益率

2021年度  
**1.5%** → 2026年度  
**5.5%**

営業利益率につきましては5.5%を目標として設定致します。容器事業におけるコスト競争力の強化、充填事業における効率的な生産体制の追求、海外事業における生産性向上といった施策により、利益率の向上を目指して参ります。

DEレシオ 2026年度目標

**0.9倍以下**

DEレシオにつきましては、0.9倍以下を目標として設定致します。期間前半において当社グループの稼ぐ力が一時的に低下することを考慮し、まずは財務健全性確保に細心の注意を払って参ります。その後、経営状況を注視しながら積極的な投資を検討致しますが、最終的には0.9倍以下の着地を目指して参ります。

ROE 2026年度目標

**5.8%**

2026年度ROEにつきましては、5.8%を目標として設定致します。財務健全性の確保と着実な利益回復により目標達成を目指して参ります。

# VENTURE-5 事業セグメント別営業利益

	2021年度実績	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
容器事業	▲631	1,000	1,500	1,700	1,900	2,000
充填事業	3,011	600	1,200	1,500	2,000	2,200
機械製作事業	▲142	150	180	200	300	400
海外事業	791	650	1,100	1,300	1,400	1,500
その他事業	▲46	30	30	50	80	130

単位：百万円

※セグメント別営業利益はグループ内取引等、内部消去前の数値になります。

※容器事業セグメント会社：北海製罐、東都成型、昭和製器

※充填事業セグメント会社：日本キャンパック、くじらい乳業、真喜食品

※機械製作事業セグメント会社：オーエスマシナリー、KEOSマシナリー

※海外事業セグメント会社：日本キャンパック・ベトナム、PTホッカカン・インドネシア、PTホッカカン・デルタパック

※その他事業セグメント会社：ワークサービス、コスメサイエンス

## 【経営方針】

- ・脱炭素社会への移行という世界的潮流を受け、素材、機能性、商流提案などで新たな取組を業界に先駆けて実践します。
- ・気候変動や資源枯渇などの社会的課題を我々の重点課題とし、率先して対策を実施します。
- ・食の安全維持やフードロス削減に貢献します。非食品系容器では利便性を高め人々の暮らしを下支えする存在を目指します。

## 【事業戦略】

- ・既存容器事業については低コストと差別化を同時に進め、業容の維持に努めます。
- ・温暖化ガス排出量削減、リサイクル材の推進、製品軽量化などの環境対策を進めます。
- ・従来からの市場領域、境界にとらわれず、変化する社会のニーズを察知し、新たな価値市場、商流を開拓します。

## 【経営方針】

- ・脱炭素社会への移行という世界的潮流を受け、環境負荷の少ない製造基盤を構築し、お客様、お取引先様、地域社会から認められる価値ある企業を目指します。
- ・成熟化が進む清涼飲料市場においても、日本キャンパックはNo.1コントラクトパッカー(受託充填会社)として確固たる地位を確立致します。

## 【事業戦略】

- ・環境配慮経営の実行：温室効果ガス削減、クリーンエネルギー活用等を実施します。
- ・生産数量の確保：これまで培った高い生産性を武器に生産数量の増大に努めます。
- ・スマートライン化：デジタル技術を用い少人数での運転可能な生産ラインを実現します。
- ・個を重視した人事：一人一人が心身ともに“イキイキ”と働ける環境を実現します。
- ・新規事業開発：社会変化に伴い発生するニーズをとらえた新規事業を開発します。

## 【経営方針】

- ・容器・包装・充填技術を一層向上させ、技術力を活かしてグループ外も含めた容器・包装・充填市場にて販路拡大を進め、得意技術で一般外販重要顧客の深耕を図り、活用できる技術を使ってサステナブル社会作りに貢献します。

## 【事業戦略】

- ・これまで培った技術力を一層向上させ、容器・包装・市場からの安定受注に繋げ、収益基盤を確保します。
- ・当社得意技術を活用し顧客の深耕を図り、受注生産活動を収益に繋がめます。  
また、省力化や省人化、軽量化等の技術向上に努め、その技術を活用しサステナブル社会作りに貢献します。
- ・経営安定化や利益の向上を図るため、生産・技術・管理体制の再構築を行います。

## 【経営方針】

- ・当社グループはインドネシア、ベトナムにおいて充填事業および容器事業を営んでおります。市場はコロナ禍から確実な回復を見せつつあり、また近い将来の力強い需要拡大が予想されますので、市場動向に合わせた設備投資、拠点拡大等を進めて参ります。

## 【事業戦略】

- ・これまで当社グループは清涼飲料充填事業を中心に海外事業の拡大を進めて参りました。今後は清涼飲料充填事業に加えて、容器事業および食品事業においても積極的な事業拡大を目指して参ります。
- ・これまで当社グループは東南アジアを中心とした事業拠点開発を進めて参りました。今後も東南アジア中心に事業開発を進めつつも、それ以外のエリアについても検討を進めて参ります。
- ・新たな経営理念である『開拓者であれ』という考えに基づき、売上/利益の拡大は然ることながら、『当社グループが新たな市場を創造し価値を提供できる事業』という意味も追求して参ります。

# VENTURE-5 事業セグメント別投資計画

5ヶ年投資概要		
容器事業	設備更新投資等	30億円
	新規容器設備投資	10億円
	その他投資	5億円
充填事業	無菌充填ライン導入	80億円
	設備更新投資等	60億円
	倉庫建設	45億円
	その他投資	40億円
機械製作事業	設備更新投資等	10億円
海外事業	生産能力増強等	35億円
その他事業	設備更新投資等	5億円
その他	M & A 投資等	50億円
	合計	370億円

当資料は、投資家の皆様にホッカンホールディングスグループへの理解を深めていただくことを目的として、経営や財務に関する情報を提供するものです。

以下の点をご了解の上、ご覧ください。

- ・業績見通し等は作成時点において、当社が予測する範囲内で作成したものです。
- ・記載の業績見通し等とは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおりますことをご承知ください。
- ・投資に関する決定は投資家ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。
- ・掲載内容について細心の注意を払っておりますが、不可抗力によって情報に誤りを生ずる可能性もございますので、ご注意下さい。

お問合せ先：

ホッカンホールディングス株式会社

経営企画部

TEL：03-3213-5110